

町屋地域… まちづくり

地域のバリアフリー、木造密集地域の改善など
住み続けることのできる安全、安心なまちづくり



**町屋5、6、7丁目は介護
交通安全対策や地域のバリア**
荒木田交番前から熊野前の道路（原河岸通り）は、交通量が増えていきます。加えて吉徳配達センター跡地に、コーポデリが配送センターを計画、配送車両による交通量の増加が見込まれます。以前から要望のあつたルネ町屋前の信号機設置が切実な課題となつてゐると思ひます。歩道整備と電柱の移設を同時に、この地域は、スクラ

・福祉施設、都営住宅が集積アフリーア化は緊急課題です

ムあらかわ（障害者福祉施設）ハイツ尾竹（母子寮）、特養ホーム（7丁目）二つの保育園などの福祉施設、高齢者・障害者住宅、都営住宅も800戸近くあります。ところが施設を結ぶ主要生活道路は、歩道が整備されず、電柱も飛び出した地點が多く残されています。もちろん段差の解消なども遅れています。時間を追って自動車の通

町屋に地域包括支援センターをもう一力所を安心してくらす上で、地域での医療、介護、福祉のネットワークは、町屋地域で一力所。木造密集地域は、高齢化率も高く、困難ケースも多いため、この地域に支援センター設置を求める声も出ています。

公的住宅建設で木造密集地域改善とバリアフリーを
この地域は、木造密集地域の
改善で倒れない燃えないまちづくり
くりが最優先課題。個人任せで
にせず、公的住宅の建設で建て
替え住み替え促進、まず命を守
るために簡易耐震やリフォームへ
の助成
上下水道の耐震化や深

町屋2、3、4丁目は災害危険度が極めて高い地域ですが、ふれあい館など「ミニユーニティ」施設がありません。町屋4丁目付近にふれあい館を建設する構想はあります、が、進んでいません。災害時を考えこの地域で優先整備することを求めていきます。

行量が増えているだけに、パリアフリー や信号機の設置などは緊急課題になっています。

聴き
区民生活に寄りする利用を
検討し、東京都に求めていくべき
です。災害危険度の高い区内木造
密集地域改善のため従前居住者用



まちの話題あれこれ（番外編）

町屋8丁目都営住宅用地内に大きな空き地…

区民にとつて役立つ使い方は出来ないのでしょうか？

町屋8丁目の都営住宅の建て替
えが終わりかなりの時間が経過。
しかし旧4号棟周辺一帯は未だに

住宅の建設も重要です。区も都も
真剣に考えるべきです。

（横山幸次）

くらし、子育て、介護、雇用…まずは声をかけて下さい。解決の第一歩です
日本共産党区議団町屋地域生活相談センター
(横山幸次区議事務所)
荒川区町屋5-3-5 TEL・FAX 3895-0504
e-mail: kouji_office@gmail.com

定例法律相談
毎月第1月曜・午後6時から8時
横山幸次区議事務所
次回は11月5日(月)です

私たちちは住民のくらしと命を守るネットワークを
もっています。いつでもご相談を

「定例法律相談」は月一回開催。暮らし、子育て、医療、介護、雇用、税金など、国会、都議会の共産党議員団や各分野の専門家とも連携し、ごいっしょに解決のために力をつくします。